

こころの便り

第278号
令和5年5月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六ハ一十二
株式会社新宮運送グループ
代表/木南 一志
kminami@shingu.co.jp
電話079-1-755-1212



新宮運送ホームページ

即行先考

新年度に入って、念願であった第二物流センターが稼働を始めました。弊社にとりましては過去最大の投資案件となつて、多くのご協力を得ながら約一年をかけて建設されました。稼働を始めたというものの倉庫の中は製品が入るまでは空洞で売り上げもゼロという状態が続いていました。ようやく少しずつ入庫が始まっていますが、直接出荷という段階には来ていません。システムの加減もあつてまだ時間が必要になります。

物事の始まりは、設備が整えばすぐにといきたいところが人情ですが簡単にはいきません。車がシフトチェンジしながらスピードを上げていくように、段取りというものが必要なのです。トラックに例えるならば、運行前の点検やアルコールチェッカーなどの点呼項目など行先確認も含めて用意すべきことがたくさんあります。この辺を含めて、すべて段取りと言つてしまえば簡単ですが、実は先のことを考えて今できることを即実行するということが、先の行動を大きく変える基になるのです。

明日の天気は明日になってみないとわからないのと同じように、将来何が起きて来るかはその時になってみないとわかりません。しか

し、分からないのだから何もせずはその時を待つのではなく、まだ来ていないその時に向けて今何が出来るかを考えていくのです。

ボーイスカウト運動の考え方のモットーに「そなえよつねに」というのがあります。常にこの備えていくということでもあります。そこまで堅苦しく考えなくてもいいじゃないかと適当に準備をしたら、大きな落とし穴にはまることになります。

知らなかったことを学んでいくことで、少しずつ知っていることに変えて、知ったことを実行してみても、簡単にはできなかつたことを少しずつできることに変えていくというのが本物の仕事なのです。

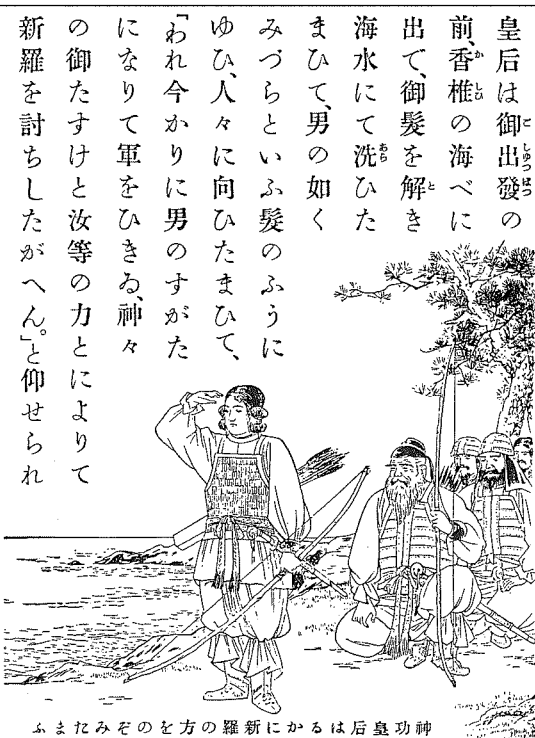
働き方改革と呼ばれる行政からの掛け声に踊らされて、仕事時間を短くしていくだけでは本物の道へとは進んでいけないのです。本物でなければ、必要とされない時代に入り始めてきました。どうすればできるかをしっかりと考えていきましょう。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

尋常小學國史 上巻

第四神功皇后 ②



皇后は御出發の前香椎の海へに出で、御髪を解き海水にて洗ひたまひて、男の如くみづらといふ髪の方にゆひ、人々に向ひたまひて、「われ今かりに男のすがたになりて軍をひきき、神々の御たすけと汝等の力によりて新羅を討ちしたがへん」と仰せられしに、武内宿禰をはじめ一同つゝしみて、仰にしたがふべし」と答へたてまつれり。

三韓我が國にしたがふ
皇后の御て
皇后舟いくさをひきき、對馬にわたり、それより新羅におしよせたまふ軍船海にみちくして、御勢すこぶる盛なりしかば、新羅王大いに恐れていはく、東の方に日本といふ神國ありて、天皇といふすぐれたる君いますと聞く。今來れるは、必ず日本の神兵ならん。いかでかふせぎ得べき」と。たちち白旗をあげて降参し、皇后の御前にちかひて、「たとひ太陽西より出で、川の水さかさまに流るゝ時ありとも、毎年貢はおこたり申さじ」といへり。やがて皇后凱旋したまひしが、其の後百濟高麗の二國もまた我が國にしたがへり。

かくて、これより朝鮮は天皇の御徳になびきしたがひ、熊襲もおのづから平げり。又五代應神天皇の御代に、王仁といふ學者など百濟より來りて、學問をつたへ、機織鍛冶などの職人も、おひく渡り來りて、わが國ますます開けしは、全く神功皇后の御てがらに基づきしなり。

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせて頂いておられます。